



特 集

コーヒー豆かすと紙カップをリサイクルして使用した内装材

環境負荷低減を目指したリサイクルコラボレーションのご紹介

今回の取り組みは、環境面でのリーダーシップ企業であるスターバックスコーヒージャパン株式会社(以下、スターバックス)の環境に配慮した店舗づくりやサプライチェーン全体を通した環境負荷低減活動と、ケイミューの環境を考えた商品開発、全プロセスでの環境負荷低減技術が共鳴し、互いの理念が合致する形で実現しました。

この取り組みにおけるリサイクルや素材そのものの自然な表情が認められ、グッドデザイン賞を受賞。さらに窯業系内外装材で初めてグッドデザイン・ベスト100に選ばれました。

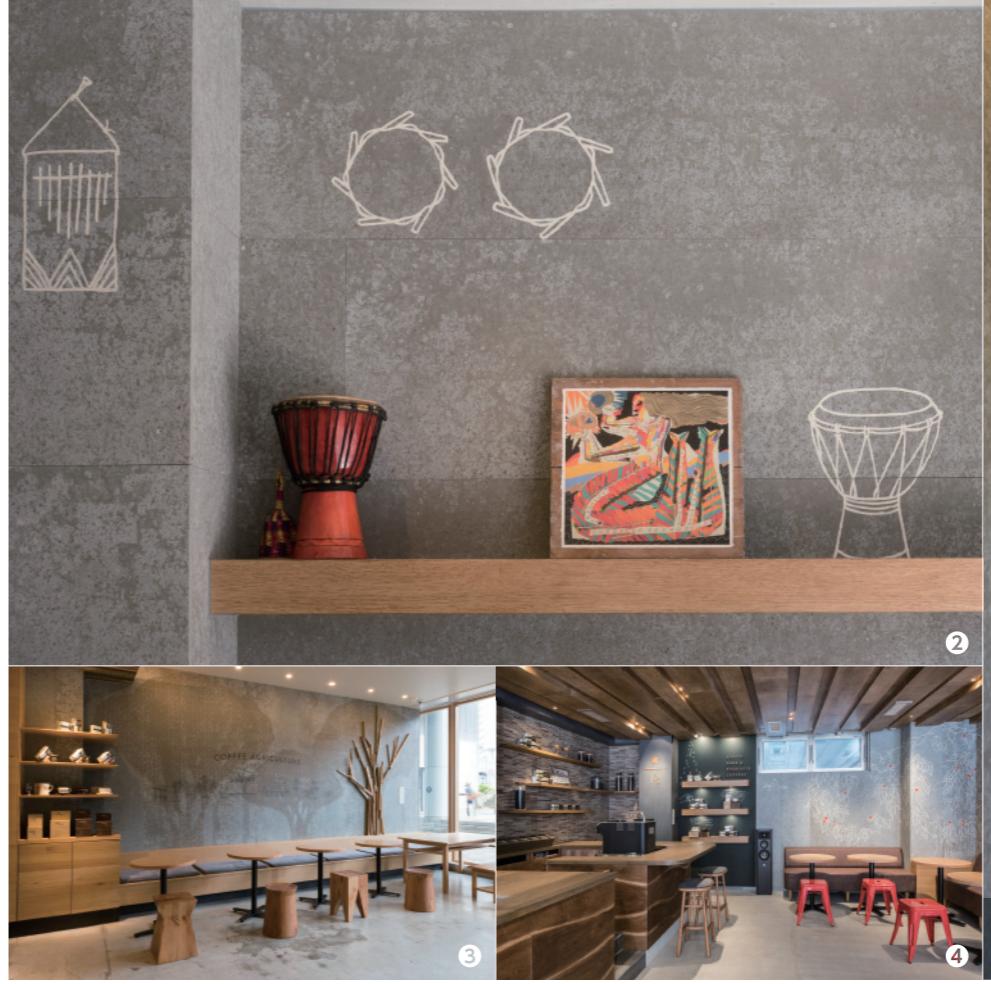


審査委員の評価

火力発電所で発生する石炭灰のほか、コーヒーショップから出る使用済み紙カップやコーヒー豆かすなど身近な廃棄物を使用しているのがよいと思います。

セメント素地が露出された表面の自然なムラは1枚1枚異なる表情を見せ、経年変化による自然な風合いの変化がとても魅力的です。

担当審査委員 | 長町 志穂 鈴野 浩一 藤森 泰司 山本 秀夫 Eggarat Wongcharit

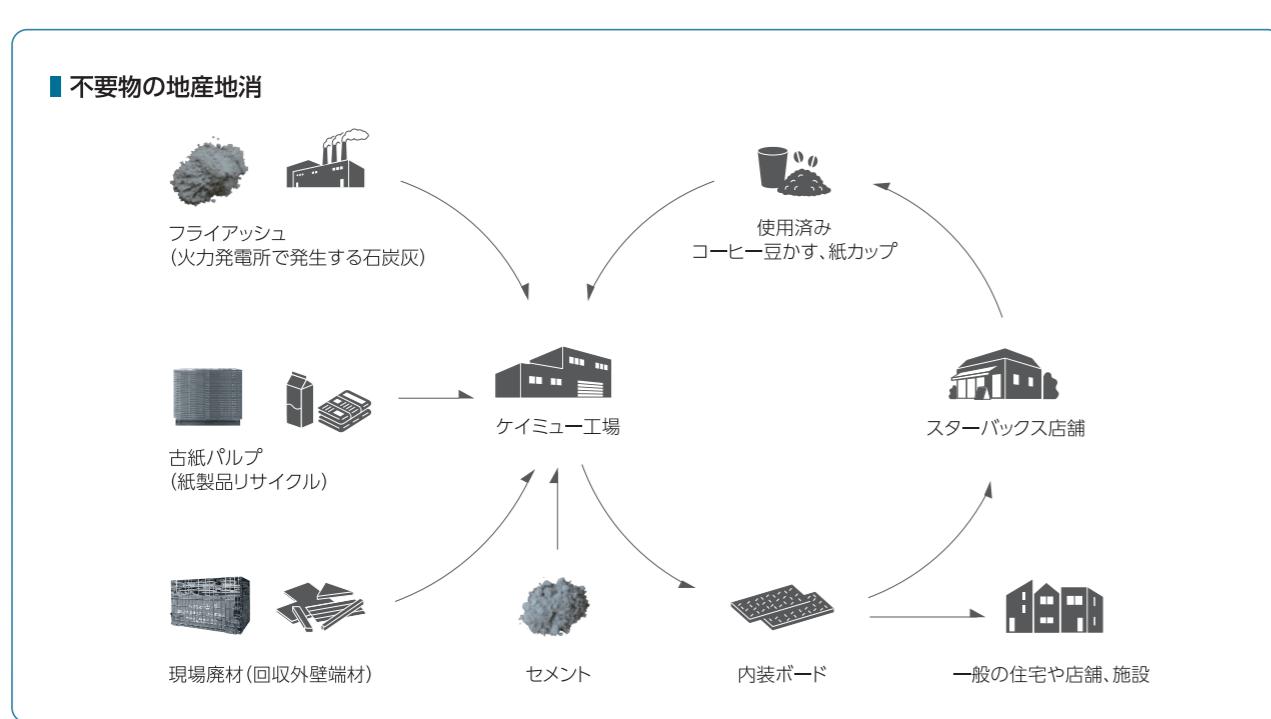


①⑤ 新石川2丁目店
②④ 初台1丁目店

廃材を再利用した内装材

この内装材は、スターバックスの店舗で発生するコーヒー豆かすと紙カップを分別し、ケイミューの北九州工場にてリサイクル原料として用いて製造したものです。紙カップは、フライアッシュ類やスクラップなどの再生原料とともに基板

材料を補強する繊維原料として使われています。また、表面にはリサイクルしたコーヒー豆かすの一部が見える状態であり、1枚1枚異なる表情が特徴的な味わいある内装材となっています。



スターバックスは、店舗の建設や運営において環境負荷を低減する取り組みを推進しています。ケイミュー様に開発していただいたボードは、地球環境を大切に思うスターバックスの精神を店舗で視覚的に表現してくださいます。温かみのある色彩とテクスチャのボードにアートワークを重ねることで、豆かすや紙カップがリサイクルできる大切な資源として再利用されていく循環型ストーリーを表現し、お客様に伝えてまいります。

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社
店舗開発本部 店舗設計部 部長
高島 真由



スターバックスは、自然の恵みであるおいしいコーヒーをいつまでもお客様に楽しんでいただくために、環境負荷を低減する活動に取り組み、循環型社会の形成に貢献したいと思っています。この度、環境に配慮したものづくりをされているケイミューの皆様の技術力のお陰で、私たちの店舗で役割を終えたものが資源としてリサイクルされ、魅力的な内装材として店舗に戻ってきました。私たちにとって理想的な資源循環の実現です。

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社
サプライチェーン本部 品質保証部開発チーム
環境推進担当
普川 玲



VOICE

新しいリサイクルのかたちを提案

当社では、従来から継続的リサイクル技術開発に取り組み、環境保全に貢献して参りました。本製品では、さらに窯業系建材で新しいリサイクルのかたちを提案できないかと考え、これまで単なる廃材とされてきた素材を新たな原材料として活用し、

従来は塗装によって覆われていた基材の素地をリサイクル材が見える状態にしました。新しいリサイクル材との出会いから発想した「素材で魅せる」内装材で、エコで安らぎを感じる今までにない空間を楽しんでいただきたいです。



奈良テクノセンター
商品企画部
部長 藤田 新次